

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	企画展開催事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	08	01	11
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	博物館の来館者	意図	流山の歴史、民俗、文化等や時宜にかなったテーマについて、知見を深めていただくため。
事業内容	企画展の事前調査・研究及び資料収集を行う。企画展開催の周知を図るため、ポスター・チラシの作成のほか、広報活動を行う。企画展の開催に合わせて、講演会等を開催し、関連印刷物を作成する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和53年6月開館以来、企画展示を年2回開催してきた。生涯学習の成熟、学校教育における総合的な学習の時間の新設などに対応した。平成13年以降第2展示室は、企画展示を行うとともに、市民ギャラリーとして貸し出している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	企画展開催数	2	2	3	
②	企画展観覧者数	10,274	10,708	15,028	人	→→	
③	関連講座・講演会開催数	2	5	8	回	→→	
④	関連講座・講演会受講者	47	198	275	人	→→	
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		10,435,310	10,248,948	12,956,899			
事業費(b)(円)		3,212,230	3,536,748	4,560,839	・企画展開催数は3回である。 ・「Hoi! オランダ 利根運河をつつたムルデルさんの国 オランダの絵本原画展」「小金牧～絵図・古文書・発掘調査から見た牧と村～」「ちょっと昔の暮らし」を開催した。 ・関連講座の受講者数も増加している。		
うち一般財源		3,212,230	3,536,748	4,560,839			
職員給与費(c)(円)		7,223,080	6,712,200	8,396,060			
人役・職員(人)		1.00	0.90	1.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.32	0.60	1.18			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	長期的な企画展の計画策定。	③取組における課題(Check)	企画展内容の充実。
②H30に実施した取組(Do)	時宜にかなった企画展（姉妹都市展・災害展）を計画した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	市民のニーズを把握し、企画展に反映させる。